

新B1参入に向けた、信州ブレイブウォリアーズ のホームゲーム集客について

令和5年9月

文化スポーツ振興部スポーツ課

(1)新B1リーグ「Bプレミア ~B.LEAGUE PREMIER~」

- ▼2026年(令和8年)10月からスタート
- ▼エキスパンション型リーグ(事業投資促進のため、昇降格を廃止)
- ▼現在、18チーム程度を想定

(2)参入に向けた主な審査基準

- ①売上基準 → 年間の売上が**12億円**以上
- ②入場者基準 → 年間ホームゲームの平均入場者数が**4,000名**以上
- ③アリーナ基準 → **5,000席**以上、**スイート・ラウンジ**の設置、必要日数の確保

(3)審査スケジュール

- ◆審査対象シーズン 今シーズン(R5年10月~R6年5)の実績
- ◆R6年10月 審査

(1)ホームゲーム

- ◆年間30試合(R5年10月7日開幕～R6年4月28日)
 - ・ホワイトリング28試合、松本市総合体育館2試合
 - ・平日開催6試合、週末開催24試合

(2)集客に向けた取り組み

- ◆子どもへのアプローチ
 - ・子どもを含めた家族の集客を強化
 - ・来場者プレゼント、体験会、ハーフタイムイベントへの参加呼びかけなど
- ◆職域へのアプローチ
 - ・スポンサー企業の社員、商工団体の会員、県市町村役場の職員などを対象に、個人や福利厚生の一環として観戦を呼びかけ
- ◆大学との連携
 - ・長野県立大学と連携し、若い世代を取り込む施策を展開

(3)長野市役所の取り組み

- ◆10月21日～11月5日の間の6試合において、**職員1回は観戦**にご協力いただきたい
 - ・スポーツ課から観戦情報を共有
- ◆**庁内放送**等で観戦意識の醸成
- ◆**職員対象とした掲示板**で随時観戦案内を情報共有し、観戦機運を醸成